

南三陸 復興まちづくり通信

創刊号(2014年7月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は2011年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を進んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を発行することになりました。毎月発行いたします。読者の皆さまからの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



兵庫県の中学生が椿の植樹

6月3日(火)、兵庫県加古川市立平岡中学校の生徒およそ300名が、修学旅行で南三陸町を訪問し、ボランティア活動を行いました。一行は2組に分かれ、それぞれ仮設での奉仕作業と椿の植樹に取り組みました。このうち植樹チーム160名は、上の山公園で植え方の手ほどきを受けた後、5人1組で熊野神社の参道に椿の苗を植えました。苗木の購入代金は、同中の生徒たちの善意の募金によるものです。この取り組みでは復興みなさん会が

企画・運営に当たり、南三陸復興推進ネットワーク、㈱佐久林業、復興応援隊の皆さまにご協力を頂きました。

「椿はなさくまちづくりお茶会」のご報告

志津川小学校仮設住宅集会所(6月23日午前)

久しぶりの志小仮設でのお茶会。参加者10名。椿のテーブルクロスを敷いて、椿茶の冷茶を召し上げて頂きました。お茶うけはもちろん「たらすもち」で、大盛り上がりでした。定期的に最新のまちづくり情報を伝えて欲しいとの要望が出されました。



平成の森仮設住宅集会所(6月27日午前)

平成のお茶会は今年の7月以来で、ウニの開口と重なって参加者は16人。椿茶と「たらすもち」のお茶っこタイムで和やかな雰囲気でした。後半は住まいの最新ニュースのプリントをお配りしました。椿の避難路の紙芝居も好評でした。



戸倉神社で植樹祭

6月20日、戸倉神社で「鎮守の森づくり」の植樹祭が行われました。横浜西ロータリークラブが主催したもので、同クラブのメンバーのほか、神社の氏子、ボランティアなどおよそ80人が参加。宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導の下、タブノキやヤマザクラなど約1,000本の広葉樹を植えました。この取り組みは、宮脇先生と復興みなさん会の後藤一磨代表との交流から実現したものです。



東松島・山元の推進員と交流会開催

6月18日、東松島市と山元町の復興まちづくり推進員の一行9人が来訪し、復興みなさん会のメンバーと交流会を開きました。お互いの地域の復興の現状や課題について話し合ったほか、それぞれの活動について情報交換を行いました。



進む住宅再建 ～ 藤浜地区で4戸着工～

南三陸町内に完成した高台移転の団地で、住宅の建設が進んでいます。町内で最も早く宅地が引き渡された戸倉藤浜地区では10区画のうち、すでに4戸が建設中で、早いところでは9月にも新居が完成する見込みです。



集団移転の造成地が次々と完成しています

町内で防災集団移転事業による宅地造成が急ピッチで進んでいます。これまでに藤浜（戸倉）、荒砥、平磯、袖浜（志津川）、港（歌津）の5地区6団地が完成。9月末までに、津の宮合羽沢（戸倉）、寄木・葦の浜、名足保育園南、生活センター西（歌津）、西田・細浦（志津川）の5団地の造成工事が完了予定です。（写真は港地区堺団地です）



一般社団法人復興みなさん会

本会の目的は、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた南三陸町において、被災した住民どうしの絆再生やコミュニティの再構築が復興まちづくりに向けた大きな礎になるとの信念の下、仮設住宅単位や元の集落単位、新たにできる団地単位等、多様なコミュニティ活動を活性化して町の復興に貢献することです。

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com